

# 子育て世代のお母さん to 市議会

平成30年4月に栗源小学校敷地内に移設した栗源児童クラブ。真新しい建物からは、小学1年から6年までの子どもたちの元気な声が響いています。保護者の働き方の多様化に伴い、放課後の子どもたちが安全で健やかに過ごせる場として、放課後児童クラブの果たす役割は重要です。

今回は、子育て世代であり、共働き等で子どもたちを放課後児童クラブに預けている保護者たちから、市議会や市政に対する率直なご意見・ご要望をお伺いするため、栗源児童クラブ保護者の皆さんと懇談会を開催しました。

子育て世代の本音に迫る

子どもが0歳の時、保育所に入れませんでした

0歳から2歳までは、先生1人の預かる園児数が少ないため、特に入れられないです。勤める会社により、育児休暇を1年取ることが難しいため、受け入れの枠を広げてほしいです。／他の市と比べたら、保育士の数が格段に少ないと感じます。／一番そばにいてあげたい0歳の時でも保育所に預けざるを得ない親が多いのは、まだまだ育児休暇を取りにくい環境だからです。取りやすい環境整備も必要と感じます。

とにかく不便でしょうがない！

買い物できる場所が少ない。近くに駅もない。どこに行くにも遠く感じます。／他の市と比べるとアパート代が高い。これでは安くて便利な近隣の市に住んでしまおうと思います。／農業体験やアウトドアが楽しめたりと田舎のいいところがいっぱい。でも、いまいち生かし切れていない気がします。／市内にも公園はありますが、整備されている市外に行ってしまうことが多いです。

香取市では子どもを産めないの？

香取市には産婦人科がないんです。これから子どもを産みたいのに、どこに行けばいいのでしょうか。／私たち、成田市で産みました！／助産院でも近くにあれば利用したいです。

縦割り行政ってダメよね！

相談しても担当部署が違うなどで聞いてもらえない。柔軟に現場の声を聞いてほしいです。／栗源児童クラブでも「周囲に照明や街灯がないため暗い」「外構に段差が多く雨の日は滑りやすい」「駐車場出入り口階段が危険」など、日々の生活で直面する細かい要望はありますが、伝える機会がありません。

救急で診てくれる病院あるのかな。不安...

以前は市外の大きな病院の近くに住んでいたのですが、子どもの急な発熱時でも安心でしたが、今は不安です。／栗源地区にも病院はありますが、小児科などはなく、お年寄り向けのような気がします。小児科がある病院でも毎日はやっていないなど、子どもを診てくれる病院が少ないです。／救急車を呼んでも、なかなか受け入れ先が見つからず、これでは救急車の意味がありません。／子育てをするのに田舎は防犯面で安心と思っていました。／香取市健康相談ダイヤル24を利用しましたが「様子を見てください」の言葉で終わり。寄り添った言葉がないと

議員へ要望を伝える手段がわからない

議員に相談したくても方法がわからないので、身近に感じないです。／市議会だよりがコンビニなどに置いてあるのは知っていますが、手に取るまではいきません。／こういった懇談会の機会を作ってほしいです。定期的に開催されれば参加もしやすくなると思います。

市議会では、この声を具体的に生かす市政への反映を目指し、引き続き活動していきます。

